南九州解体工事協力会総会

技術向上に各種講習

南九州解体工事協力会（重井康昭会長、34社）は22日、鹿児島市のホテルレクストン鹿児島で第11回通常総会を開き、発注機関に対する陳情活動の実施や各種講習会の開催による技術向上などを盛り込んだ新年度事業計画を決めた。

総会の冒頭、重井会長が「受注実績等から見ても、協力会は年々進歩しつつある。今後も厳しい時代が続くが、力を結集して乗り切っていこう」と挨拶。

議事では、福田栄氏（中建設㈱）を議長に選出し、第10期事業・収支決算報告および第11期事業計画・収支予算案等を審議、すべて原案通り可決承認した。

新年度事業計画は、①県、市町村等に対する陳情活動の実施②各種講習会の開催推進③ボランティア活動の実施－など。

力を結集し乗り切ろう―と挨拶する重井会長
＝鹿児島市のホテルレクストン鹿児島で

マリンポート大橋の渡り初め

通行車両の交通安全祈願

マリンポートかごしま1期1工区（10・3ha）へのアクセス橋梁となる「マリンポート大橋」の竣工安全祈願祭（主催・九州地方整備局鹿児島港湾・空港整備事務所）が22日、鹿児島市の現地であった。発注・工事関係者等が参加し、通行車両の交通安全を祈願。宇宿幼稚園の園児ら約50人も加わり、渡り初めも行った。

セレモニー広場では、プレイベント（主催・「マリンポートかごしま」供用開始記念事業実行委員会）の一環として、同園児らによる花の植え付けを実施。県土木部の平田武次長が「広い錦江湾を満喫できる新たな名所として整備を進めてきました。みんなで協力してきれいに植え付けてください」と挨拶すると、園児らは1期1工区と2工区を仕切る花壇6カ所にブルーサルビア、キバナコスモス、ビンカなど6種類の花を次々と植え付けた。

手を真っ黒にした子供たちは、展望広場で記念写真を撮影するなど、桜島を眼前に満喫できる空間を一足早く体験した。

マリンポートかごしまでは、供用開始する28日から3日間、「ひろびろ満喫！気分爽快！」をキャッチフレーズにした記念イベントが行われる。

園児を先頭に渡り初めする関係者
＝鹿児島市の現地で

出水共同高等職業訓練校

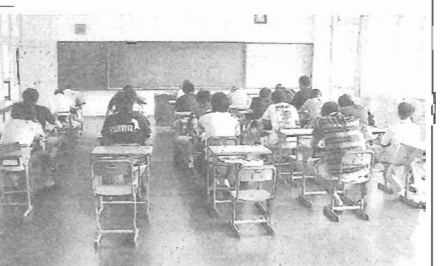
2級土木施工管理試験直前講習会

本番に備え32人受講

出水共同高等職業訓練校（渋谷俊彦校長）は22日から8日間にわたって、出水市野田町の同校で、10月28日に実施される2級土木施工管理技士試験のための直前講習会を開始した＝写真＝。

同講習会は22日を皮切りに10月14日までの8日間（土・日曜日）実施され、過去8年間の問題を踏まえ学習し、さらに昨年から変更された実技試験にも対処している。

初日となる22日は、受講申し込みのあった北薩・川薩地区をはじめ、遠くは鹿児島市内から計23人の受講生が聴講。受講生は試験前の最後の追い込みとあって、真剣な表情で問題に取り組んでいた。



県建築士会指宿支部運動会

珍プレーに大盛況

県建築士会指宿支部（追田順一支部長）は21日、指宿市のサンシティーホールいぶすきで毎年恒例のナイター・ファミリー運動会を開いた。会員・賛助会員らの家族も参加、親睦を深めた。結果は、白チームが逆転で優勝、赤と黄は同点だった。

今年で16回目を迎えた運動会。開会に先立ち、追田支部長が「けがなどには気をつけて和気あいあいと楽しみ、交流を深めてください」と挨拶。前回優勝の指宿Bチームから優勝旗が返還され、赤（指宿A・丹波地区）、白（山川、開聞、頴娃地区）、黄（指宿B・喜入地区等）の3チームによる対抗戦で競技が行われた。

プログラムには、小学生による「走っみろや」（短距離走）やかごを背負い、ボールをついてかごの中に入れてリレーする「だってごっ」、選手4人の年齢が200歳以上で実施する「200オリレー」などユニークな競技を盛り込み、随所で珍プレーが続出。会場は大いに盛り上がった。

最後に、自転車等の豪華賞品が当たる抽選会も実施。当選番号が呼ばれる度に歓声が沸き、大盛況のうちに大会は終了した。

アメ食い競争に奮闘する子供たち＝指宿市のサンシティホールいぶすきで

鹿児島大学「建築展」

多様な〝つながり〟表現

鹿児島大学工学部建築学科の学生が企画立案し、さまざまな角度からものづくりの魅力を提案する「第50回建築展」が22日から24日までの3日間、鹿児島市の鹿児島中央駅一番街商店街であった。空き店舗をギャラリーにするなど、独創性の高い作品を随所に展示。買い物客などの関心を集めた。

同学科の3年生が手掛ける恒例行事。今回は「展示型から参加型へ」、「地域に密着した、そこにしかない商店街」をテーマに、商店街通りの流動性や空き店舗の在り方、アーケードの3つの視点から作品を制作、提案した。

会場には、木材とワイヤを連結させ、張力と圧力の均衡で強度が得られる「テンセグリティ」と称した球体オブジェや立方体を組み合わせた可変性のある「コネクトキューブ」と呼ばれる作品を展示。空き店舗では、クラフトテープを編んで帯状に連結させた「リンク」と称するオブジェが目を引いた。展示にあたっては、賃貸50周年を迎える同商店街も協力。作品を、商品の陳列台として利用する店舗も見受けられた。

事前にアンケートも実施するなど、商店街の人々との〝つながり〟を大切に取り組んだという今回の建築展。実行委員長の市村良平さんは「自分の空間の中にも、さまざまな工夫が凝らされていることを知ってほしい。街に明るさと活気をもたらすきっかけになれば」と話した。

独創的なオブジェ〝リンク〟と制作に携わった学生＝鹿児島市の鹿児島中央駅一番街商店街で

グラウンドゴルフ大会

地域住民と親睦

㈱イシタケ（石谷洋一社長）は24日、鹿児島市の郡山総合運動公園で第5回㈱イシタケ杯争奪グラウンドゴルフ大会を開き、地域住民らと親睦を深めた。

同大会は、同社社員が地域住民やお年寄りらと触れ合うことを目的に、平成15年から毎年実施。年々参加者も増え、今では恒例行事として定着している。

今回は同社社員をはじめ、鹿児島、指宿、蒲生、薩摩川内の地域から160人が参加。1チーム5人、編成の32チームに分かれ、8ホールを2ラウンドしてスコアを競い合った。

各ホールでは、好プレーに歓声や笑い声が上がるなど、終日和やかな雰囲気。表彰式では、入賞者にデジタル液晶テレビをはじめ、布団、シーツ、新米などの豪華商品が手渡されたほか、おもな賞（最高齢者賞）やプービー賞等の表彰もあった。

石谷社長は、「この大会を楽しみにされている高齢者の方々も多い。来年以降も是非続けていきたい」と笑顔で話した。

和やかな雰囲気に包まれた大会＝鹿児島市の郡山総合運動公園で